※令和３年度以前入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　情報科

科目	情報の科学	単位数	２	必要Ｓ出席数	８
使用教科書	情報の科学　新訂版（実況出版）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６　枚	２　枚	２　枚	２　枚
スクーリング	１６　枚	６　回	５　回	５　回
テスト	２　回	○	×	○
課題・実習等	２・３範囲に、ＰＣを活用した課題提出があります。			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「社会と情報」で学んだ知識をさらに発展的に学習するので、「社会と情報」の学習内容をよく理解しておきましょう。
- 実習中のレポート課題について学ぶことがあります。講義・実習形式のスクーリングにできるだけ出席しましょう。
- ２進法やプログラミングなどでは数学的な考え方を必要とする場合があります。

２　学習の到達目標

- 情報社会を支える情報技術の役割や影響について理解できる。
- 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。
- 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度が育まれている。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用することについて、科学的な考え方を生かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。
・記述の確認	・記述の確認（レポート） ・観察（スクーリング）	・記述の確認（レポート） ・観察（スクーリング） ・定期考査	・記述の確認（レポート） ・観察（スクーリング） ・定期考査	・記述の確認（レポート） ・観察（スクーリング） ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
Ⅰ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	講義 情報社会で 気をつけること 講義 アナログとディジタルの 違い・数値の表し方 講義 コンピュータでの 情報の表現 講義 ハードウェアと ソフトウェア 講義 コンピュータネットワーク 講義 インターネットの仕組み	○	○	○	○	a：　情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもてる。 b：　問題を解決するために情報及び情報技術を活用できる。 c：　情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d：　情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート ・スクーリング ・定期考査
Ⅱ	① ② ③ ④ ⑤	演習 アルゴリズムと プログラムの基本 演習 VBAプログラミング 演習 モデル化と シミュレーション 演習 データベース (表計算ソフト) 演習 データベース (データベースソフト)	○	○	○	○	a：　情報社会を支える情報や情報技術に関心をもてる。 b：　問題を解決するために、適切なソフトウェアを用いて情報を活用できる。 c：　情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d：　情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート ・スクーリング
Ⅲ	① ② ③ ④ ⑤	講義 情報セキュリティ 講義 情報社会の発展と 知的財産権 講義 情報システム 実習 データ分析 実習 問題の解決案と 実施・評価	○	○	○	○	a：　情報社会を支える情報技術や関連法規に関心をもてる。 b：　問題解決のためにデータを分析し、適切な解決案を思案・提示できる。 c：　情報及び情報技術を問題解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d：　情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート ・スクーリング ・定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解